

環境基本計画 新旧対象表

修正箇所				修正内容		修正の理由
場所	新ページ	旧ページ	箇所	種別	変更後	
目次			目次 第1章	変更	計画前期の取組状況と評価	前計画の取り組みと成果
目次			目次 第5章 以下	変更	第5章 半田市気候変動適応計画 第6章 半田市生物多様性地域戦略 第7章 計画の推進・進行管理	第5章 半田市生物多様性地域戦略 第6章 計画の推進・進行管理
第1章	1		1. 計画策定の背景 本文 11行目、13行目	修正	改訂	改定
第1章		1	1. 計画策定の背景 本文 11行目～13行目	削除	なし	、豊かな自然と文化を生きかしつつ、思いやりをもって、安全で美しく快適なまちに育て、次の世代に良好な環境を引き継ぐため、これまで環境行政を推進してきました。
第1章		1	1. 計画策定の背景 本文 18行目～21行目	削除	なし	また、国の第五次環境基本計画において「SDGsの考え方も活用し、環境・経済・社会の統合的向上を具体化する取り組み」として、日本版のローカルSDGsである「地域循環共生圏」が打ち出され、地域で推進していくことが求められており、
第1章	1		1. 計画策定の背景 本文 21行目	修正	取り組みの検討が必要となっていました	取り組みの検討が必要となっています
第1章	1		1. 計画策定の背景 本文 24行目	修正	「第2次半田市環境基本計画」を策定しました	「第2次半田市環境基本計画」を策定します
第1章	1		1. 計画策定の背景 本文 25行目～31行目	追加	新たな計画である「第2次半田市環境基本計画」では、今後10年間でめざす環境の将来像を「環境を守り未来へつなぐ脱炭素のまち・はんだ」と定め、これまで環境行政を推進してきました。5つの柱と11の方針を中心に取り組みを進め、一部の方針では、計画策定時に掲げた中間目標値を上回る成果が出ています。本計画の改訂に際しては現計画の中間評価や取り組みの進捗状況を踏まえ、社会情勢の変化等を反映させつつも、内容の修正は最小限にとどめ、より実行力のある内容となることを前提に改訂し、後期計画として策定するものとします。	なし
第1章		2	「ゼロカーボンシティ2050はんだ」への挑戦 本文 20行目から25行目	追加	この野心的な目標に向けて取り組みんでいくために、政府は令和3（2021）年3月には地球温暖化対策の推進に関する法律を改正し、2050年カーボンニュートラルを法的に位置づけるとともに、同年4月には「温室効果ガスを2013年度から46%削減、さらに50%の高みに向けて挑戦を続ける」と従来の目標を更に上回る目標を打ち立て、同年10月には新たな地球温暖化対策計画を策定しました。	なし
第1章		2	「ゼロカーボンシティ2050はんだ」への挑戦 本文 30行目以降すべて	削除	なし	令和2年（2020）年の世界的な新型コロナウイルス感染症拡大は、人々の生活と行動や価値観を一変させました。新型コロナウイルスに対応しながら、持続可能な社会の実現に向け、ゼロカーボンへの挑戦を市民・事業者と共有し、次の10年に向かって新たな一歩を踏み出し、わがまち半田の未来をともに創っていきます。
第1章	3		2. 計画の基本的事項 1) 計画の目的と位置づけ 14行目	追加	及び気候変動適応法第12条に基づく「地域気候変動適応計画」、	なし

項目の内容を前計画（第1次環境基本計画）から現計画の前期へと変更したことに伴うもの。

計画の構成として、地球温暖化対策の緩和策である「第4章 半田市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の後に適応策である気候変動適応計画を差し込んだことにより変更したものの。

総合計画の表現に合わせて修正。

第1章 4. 前計画の取組と評価へ移動。

2024年度から国の環境基本計画は第六次へ移行していることから削除するもの。

計画の改訂に合わせて表現を修正したもの。

計画の改訂に合わせて表現を修正したもの。

計画改訂の背景としての前量を説明するため追加。

現在における国の示すCO₂排出量削減の目標値を示す内容を追記するもの。

新型コロナの5類移行に伴い削除。

本改訂に合わせて策定する気候変動適応計画に関する記述を追加。

環境基本計画 新旧対象表

修正箇所				修正内容			修正の理由
場所	新 ページ	旧 ページ	箇所	種別	変更後	変更前	
第1章	3		2. 計画の基本的事項 1) 計画の目的と位置づけ ■他の計画や施策等との関係	追加	「気候変動適応計画」	なし	本改訂に合わせて策定する気候変動適応計画に関する記述を追加。
第1章	3		2. 計画の基本的事項 1) 計画の目的と位置づけ ■他の計画や施策等との関係	変更	第六次環境基本計画（環境省）	第五次環境基本計画（環境省）	環境省の第六次環境基本計画策定に合わせ修正
第1章	3		2. 計画の基本的事項 1) 計画の目的と位置づけ ■他の計画や施策等との関係	追加	ゼロカーボンシティはんだビジョン	なし	<環境分野に関連する計画> 策定済みの計画を追加
第1章	3		2. 計画の基本的事項 1) 計画の目的と位置づけ ■他の計画や施策等との関係	追加	市民チャレンジ協働プラン	市民協働推進計画	<その他関連計画> 市民協働推進計画が令和2年度に計画終了し、令和4年3月に新計画となったため追加
第1章	3		2. 計画の基本的事項 1) 計画の目的と位置づけ ■他の計画や施策等との関係	追加	農地等の利用の最適化の推進に関する指針	なし	<その他関連計画> 令和5年5月22日付で改定された指針であり、遊休農地面積の目標値を示している指針であることから追加
第1章	3		2. 計画の基本的事項 1) 計画の目的と位置づけ ■他の計画や施策等との関係	追加	食育推進計画	なし	<その他関連計画> 食育推進の一環として、地産地消を推奨する内容を含むことから追加
第1章	3		2. 計画の基本的事項 1) 計画の目的と位置づけ ■他の計画や施策等との関係	追加	地域公共交通計画	なし	<その他関連計画> 半田市地域公共交通網形成計画の計画期間終了（R6）に伴い、R7年度からの計画として策定されたため追加
第1章		5	前計画の取組と成果	削除	なし	○大気汚染や水質汚濁、騒音・振動等の監視や、事業所への監視・指導や環境保全協定の締結等の公害対策を進めた結果、大気等は良好な状況となっています。 ○下水道の整備と合併処理浄化槽の設置による生活排水対策が着実に進み、河川の水質改善につながっていますが、矢勝川では季節により水質汚濁の状況が見られます。 ○畜産臭気問題については、大同大学との共同研究の成果を利用して、市内畜産施設の臭気測定と、畜産農家への監視指導及び臭気対策支援を継続的にを行い、臭気改善を推進しています。 ○畜産臭気低減策として、生ごみや食品廃棄物、畜産ふん尿等をメタン発酵してバイオガス発電を行う「半田市バイオマス産廃都市構想」を計画的に推進しています。臭気に対する市民評価は向上していますが、目標には達していません。 ○ペットのフン害など日常生活環境に対しては、市民を巻きこんだフンの放置防止対策として、イエローチョーク&イエローカード作戦を実施しました。また、増えつつある野良猫問題への対応を協働による地域猫活動として始めるなど、快適な生活環境の確保に努めました。	前計画の取り組みと成果については前期計画に掲載されていることから、後期計画では表現を簡素化（目標値の達成状況のみ）するもの。

環境基本計画 新旧対象表

修正箇所				修正内容			修正の理由
場所	新 ページ	旧 ページ	箇所	種別	変更後	変更前	
第1章		6	前計画の取組と成果	削除	なし	○市民・事業者・行政が協働し、地球温暖化対策に取り組んできました。市内では住宅用太陽光発電システムの導入も進んでいます。 ○市民意識調査によると、地球温暖化対策の重要性が十分認識されています。 ○半田農業高校の生徒と協働で緑のカーテン講座を実施し、家庭での緑のカーテン普及に取り組めました。 ○これまで2か所の大型木質バイオマス発電施設が稼働しており、令和3(2021)年度からは「半田市バイオマス産業都市構想」に基づいて、生ごみや食品廃棄物、畜産ふん尿等のメタン発酵によるバイオガス発電施設も稼働します。 ○ごみ減量化の普及啓発や、使用可能な家具などの再利用を促すイベント「もったいないバザール」、資源の分別回収の強化など、市民との協働により、リデュース・リユース・リサイクルの3Rの推進に取り組んできました。 ○市民1人1日当たりごみ量は、他都市と比べると依然多い状況ではありますが、全体として減少傾向にあります。 ○各自治区から推薦された「ごみ減量等推進員(3Rアドバイザー)」とともに、ごみ減量意識の啓発を図りました。	前計画の取り組みと成果については前期計画に掲載されていることから、後期計画では表現を簡素化(目標値の達成状況のみ)するもの。
第1章		7	前計画の取組と成果	削除	なし	○雁宿公園の再整備や、ため池等の親水性に配慮した維持管理、新美南古記念館の自然環境に配慮した取り組み等を進め、潤いのある水・緑空間の確保につなげました。 ○市民意識調査でも市民の緑の豊かさや公園に対する評価が高い状況です。 ○有脇・乙川地区では、外来魚の駆除とため池の清掃等を目的として「かいどり活動」を継続的に実施しました。 ○河川やため池に生息する水生生物調査を市内小中学校の教員の協力を得て実施したり、「はんだ水辺マップ」の作成・配布、特定外来生物に関する啓発など、生物多様性の保全に関する取り組みを進めてきました。 ○外来生物駆除については、市民意識調査によると多くの市民が協力の意向を示しています。 ○農家の高齢化や離農等により耕作放棄地が増加しているため、耕作放棄地の有効活用を図るとともに、学校給食への地元農産物の使用など、環境面からの農業振興を支援してきました。	前計画の取り組みと成果については前期計画に掲載されていることから、後期計画では表現を簡素化(目標値の達成状況のみ)するもの。

環境基本計画 新旧対象表

修正箇所				修正内容			修正の理由
場所	新 ページ	旧 ページ	箇所	種別	変更後	変更前	
第1章		7	前計画の取組と成果	削除	なし	○半田運河周辺の景観整備、風景コンテストや観光イベントの開催、SNSを活用したPRを進めるとともに子どもへの景観学習等を実施し、美しく半田らしい景観の整備や歴史的・文化的環境資源の保全・継承を進めてきました。 ○事業者等との協働によるごみゼロ運動にも取り組んでいます。 ○七本木池公園は自然環境を活かした親水性のある公園として、また、雁宿公園は、桜や紫陽花、紅葉、寒椿など様々な植物から季節を感じることできる公園として、多くの方々の憩いの場として利用されています。 ○任坊山公園の宮池エリアは、池の北側に親水デッキを設置し、宮池の周りにぐるりと遊歩道を設けた水に親しめる公園に生まれ変わりました。	前計画の取組みと成果については前期計画に掲載されていることから、後期計画では表現を簡素化（目標値の達成状況のみ）するもの。
第1章		8	前計画の取組と成果	削除	なし	○子どもたちに3つの自然（海・森・川）の中での環境学習や保育園・学校等への出前講座、地域や企業と連携した「学校・地域連携環境学習推進事業」など、市民・事業者等との連携による環境学習を継続的に進め、多様な環境学習の場を創出してきました。 ○はんだ環境パートナーシップ会議は、市民、事業者及び行政が連携・協働して、環境まちづくりを推進する組織として、環境基本計画の進捗状況の点検・評価や、環境保全の普及啓発ポスターコンクール事業等に取り組みました。また、市内公共施設の美化及び保全のために公共施設アダプトプログラムを推進し、市民、事業者及び行政のパートナーシップに基づいて環境美化活動も進めてきました。	前計画の取組みと成果については前期計画に掲載されていることから、後期計画では表現を簡素化（目標値の達成状況のみ）するもの。
第1章	5～8		3. 計画前期の取組と成果	追加	全体を追加したもの	なし	後期計画への改訂にあたり、現計画の中間評価に関する記述が必要との委員からの意見を受け追加したもの。各柱の指標値の推移、中間評価の結果に加え、取組内容に関するコメントを掲載するもの。
第1章	9		4. 計画の構成 ■第2次半田市環境基本計画の構成	追加	■第2次半田市環境基本計画 後期計画の構成	■第2次半田市環境基本計画の構成	第5章に半田市気候変動適応計画を新規追加したことにより、計画の構成が変更となったため、当初計画との差別化を図るため「後期計画」を追加したもの。
第1章	9		4. 計画の構成 ■第2次半田市環境基本計画の構成	追加	第5章 半田市気候変動適応計画 半田市気候変動適応計画にかかる内容と取り組みを示しています。	なし	本改訂に合わせて策定する気候変動適応計画に関する記述を追加。
第3章	14		下段表 主に関係するSDGs	修正	SDGsアイコンの順番変更		SDGsアイコンの並び順を番号の小さい順に左から並びよう修正
第3章	17		3. 取り組みの5つの柱 ◆現状と課題 ・「ゼロカーボンシティ2050はんだ」へのチャレンジ 本文 1行目から4行目	修正	本市においても国が掲げる「2030年度に2013年度比で温室効果ガス排出量46%削減、さらに50%の高みに向けて挑戦する」という削減目標を踏まえ、令和12（2030）年度までに平成25（2013）年度比で50%削減することを目標とします。	本市もCO ₂ 排出量実質ゼロに挑戦する「2050年ゼロカーボンシティ」を表明しました。ゼロカーボンシティの実現に向けたスタートの10年として、果敢なチャレンジと、計画的かつ着実な対策による、温室効果ガスの大幅な削減が必要です。	◆施策の進捗を見る指標・目標の上方修正に繋がる内容を示す必要があり、内容を修正。
第3章	17		3. 取り組みの5つの柱 ◆現状と課題 本文 17行目	修正	稼働を開始し	稼働予定であり	ビオぐるファクトリーが稼働を開始したため。
第3章	17		3. 取り組みの5つの柱 ◆現状と課題 本文 18行目	修正	高まっています	高まります	ビオぐるファクトリーが稼働を開始したため。

環境基本計画 新旧対象表

修正箇所				修正内容			修正の理由
場所	新 ページ	旧 ページ	箇所	種別	変更後	変更前	
第3章	17		3.取り組みの5つの柱 ◆現状と課題 本文 19行目	修正	進んでいます	推進が必要です	ビオぐるファクトリーが稼働を開始したため。
第3章	17		3.取り組みの5つの柱 ◆施策の進捗を見る指標・目標	修正	省略	省略	施策の進捗を見る指標・目標の値を修正 柱1については、区域施策編・事務事業編の目標値を 26%⇒50%へ上方修正したことに伴い、すべての目標 値を修正している。
第3章		17	表下部	削除	削除	住宅用地球温暖化対策設備に関する注釈	他の用語と同様に、資料編の用語説明で解説をするため 削除
第3章	18		1－1 脱炭素社会へ移行する ◆市が取り組むこと 主な施策 1番目	修正	「ゼロカーボンシティ2050はんだ」ビジョンの広報・啓 発	「ゼロカーボンシティ2050はんだ」ビジョンの策定	2022年1月に策定済みのため、現状に合わせて修正した もの。
第3章		18	1－1 脱炭素社会へ移行する ◆市が取り組むこと 主な施策 1番目	削除	なし	策定し、	2022年1月に策定済みのため、現状に合わせて修正した もの。
第3章	18		1－1 脱炭素社会へ移行する ◆市が取り組むこと 主な施策 2番目	変更	住宅用地球温暖化対策設備の購入助成等により、太陽 光発電設備やHEMS、蓄電池、ZEH等の導入を支援しま す。	太陽光発電やHEMSの啓発や購入助成等により、ZEH等の 環境配慮型住宅設備の導入を支援します。	R4に開始した市の補助制度名称及び補助要件に合わせ て修正したもの。
第3章		18	1－1 脱炭素社会へ移行する ◆市が取り組むこと 主な施策 6番目	削除	なし	(一財)省エネルギーセンターが実施している	省エネルギーセンターだけでなく、他の事業者も参入 しているサービスであることから、あえて特定するこ とを避けるもの。
第3章	19		1－1 脱炭素社会へ移行する ◆市が取り組むこと 主な施策 5番目	修正	地域新電力事業の活用	地域新電力事業の導入	新電力事業者が設立されたため、実態に合わせて表現 を修正するもの。
第3章	19		1－1 脱炭素社会へ移行する ◆市が取り組むこと 主な施策 5番目	修正	を活用します。	の実施について検討します。	新電力事業者が設立されたため、実態に合わせて表現 を修正するもの。
第3章	19		1－1 脱炭素社会へ移行する ◆市が取り組むこと 主な施策 8番目	修正	に	の更新に合わせ	重点対策加速化事業の採択により、更新時期に限らず 導入することとしているため、表現を修正した。
第3章	20		コラム	追加	半田市の公共施設における地球温暖化対策について	なし	別計画ではあるものの、半田市が取り組んでいる地球 温暖化対策について本計画内で触れた方が良好との委 員意見を踏まえ、簡易的に紹介するコラムを追加。
第3章		21	1－2 気候変動に備える ◆市が取り組むこと 主な施策 2番目	削除	削除	気候変動適応計画の策定を検討します。	気候変動適応化計画を2025年策定予定のため、内容を 新たに取り組みとして立ち上げ
第3章	21		1－2 気候変動に備える ◆市が取り組むこと 主な施策 2番目	追加	クーリングシェルターの設置 冷暖房設備のある公共施設や民間事業所を「クーリン グシェルター」として開放し、危険な暑さに対する対 策を行います。	追加	気候変動適応化計画を2025年策定予定のため、内容を 新たに取り組みとして立ち上げ
第3章	21		1－2 気候変動に備える ◆市が取り組むこと 主な施策 3番目	追加	学校における熱中症対策 空調機器の使用や熱中症対策を講じた行事の開催方法 など、必要な熱中症対策を講じ、児童・生徒の熱中症 予防に努めます。	追加	気候変動適応化計画を2025年策定予定のため、内容を 新たに取り組みとして立ち上げ
第3章	21		1－2 気候変動に備える ◆市が取り組むこと 主な施策 4番目	追加	公共施設への緑のカーテン設置【再掲】 公共施設へ緑のカーテンを設置し、冷房負荷の軽減と 省エネの推進に努めます。また、市民や事業者への普 及促進を図ります。	追加	気候変動適応化計画を2025年策定予定のため、内容を 新たに取り組みとして立ち上げ
第3章	21		1－2 気候変動に備える ◆各主体が取り組むこと 市民 2つ目の・	追加	・熱中症対策として、暑さを避け、こまめな水分補給 に努めます。高齢者や子どもなどの熱中症になりやす い人にも熱中症対策を行うよう、声をかけます。	追加	熱中症対策に関する記述が無かったため追加。（委員 からの意見にも熱中症関連のコメントあり）

環境基本計画 新旧対象表

修正箇所				修正内容			修正の理由
場所	新 ページ	旧 ページ	箇所	種別	変更後	変更前	
第3章	21		1－2 気候変動に備える ◆各主体が取り組むこと 事業者 3つ目の・	追加	従業員等の安全確保のため、熱中症対策に努めます。	追加	熱中症対策に関する記述が無かったため追加。（委員からの意見にも熱中症関連のコメントあり） 企業側の責任として義務化されたことにより、直接の指導は県労働局から行っており、市の業務には含まれないことから、市における具体の取り組みは無し。しかしながら、義務ではないものの推奨される取り組み（水分補給の促進や暑熱順化、健康管理など）があるため、それらを含めての意味で記載することとする。
第3章	22		柱2 資源循環社会 ◆現状と課題 2行目から6行目	修正	令和3（2021）年度から開始した家庭系ごみ有料化以降、1人当たりの家庭系ごみ量は大きく減少し、令和6（2024）年度の1人1日当たりの家庭系ごみ量は433gとなり、すでに令和7年度の中間目標値である510gは達成しています。しかし、ごみの組成調査結果から、ごみの水切りが不十分であったり、資源の混入が多く見られている状況であり、更なるごみの減量化および資源化に取り組む必要があります。	減少傾向にあるものの、1人当たりの家庭系ごみ量は他都市と比べるとまだ多く、調査結果から生ごみの水切りが不十分であったり、資源の混入が多く見られたりする状況です。そのため、令和2（2020）年度の1人1日当たりの家庭系ごみ510gの目標は達成できない見込みで、いまだ十分な減量化・資源化の達成に至っていません。	ごみ量など、改訂前から状況が大きく変化しており、改訂に合わせ目標値を変更することから、内容を修正したもの。
第3章	22		柱2 資源循環社会 ◆現状と課題 8行目から10行目	修正	令和3（2021）年4月からごみ処理にかかる費用の一部を市民が手数料として負担する家庭系ごみの有料化が始まり、令和4（2022）年度にはクリーンセンターからリサイクルセンターに名称を変更し、常設の資源受け入れ施設とし、資源化を更に推進していきます。	令和3（2021）年4月からは、さらなるごみ減量に向けて、ごみ処理にかかる費用の一部を市民が手数料として負担する家庭系ごみの有料化が始まります。	ごみの有料化やクリーンセンターの名称変更などが既の実施していることから修正するもの。
第3章	22		柱2 資源循環社会 ◆現状と課題 14行目	修正	始まりました。	始まります。	ビオぐるファクトリーが稼働を開始したため。
第3章	22		柱2 資源循環社会 ◆施策の進捗を見る指標・目標	修正	指標の上方修正		中間目標値・目標値を達成したことにより目標を上方修正するもの。
第3章	23		2－1 3Rを推進する ◆市が取り組むこと 主な施策 4番目	修正	リユースイベントを開催し、再利用可能な不用品を回収し、価値販売を行うことで、市民のリユース意識の向上を目指します。	再利用可能な粗大ごみの譲渡や交換、フリーマーケットでの再利用等の取り組みを支援します。	もったいないバザールの復活により、表現を変更するもの。
第3章	23		2－1 3Rを推進する ◆市が取り組むこと 主な施策 5番目	修正	リサイクルセンターを資源類回収の拠点として活用するとともに、新たな資源化対象品目の追加や家庭系生ごみのバイオガス発電への活用可能性等を検討します。	国の動向等を勘案しつつ、硬質プラスチック製品や木製粗大ごみ等の資源化を検討します。	リサイクルセンターの活用や家庭系生ごみの資源としての活用可能性を具体的に示すため修正するもの。
第3章	24		2－1 3Rを推進する ◆各主体が取り組むこと 市民	追加	・家庭から出る生ごみのバイオマス資源としての再利用に努めます。	なし	家庭系生ごみを資源と捉え、活用することを促すため追加するもの。
第3章	24		コラム	修正	もったいないバザールの紹介	分別アプリの紹介	リユースイベントの紹介へ変更予定
第3章	25		2－2 廃棄物を適正に処理する ◆市が取り組むこと 主な施策 3番目	修正	知多南部広域環境センターにおいて廃棄物を適正に処理します。	知多南部広域環境センターの建設を進め、供用開始後は廃棄物を適正に処理します。	知多南部広域環境センターの建設は終了し稼働していることから、建設についての文言を削除し修正するもの。
第3章	25		2－2 廃棄物を適正に処理する ◆市が取り組むこと 主な施策 4番目	修正	適正な維持管理	建設	処理場の建設に係る文言を削除し、維持管理とした。
第3章	25		2－2 廃棄物を適正に処理する ◆市が取り組むこと 主な施策 4番目	修正	一般廃棄物最終処分場の維持管理を適正に行うとともに、	一般廃棄物最終処分場の建設を計画的に進めるとともに、	処理場の建設に係る文言を削除し、維持管理とすることに伴って内容を修正するもの。
第3章	25		コラム	修正	ゆめくりんの紹介	ゆめくりんの紹介	ゆめくりんの稼働に伴い、全体的に表現を修正

環境基本計画 新旧対象表

修正箇所				修正内容		修正の理由	
場所	新 ページ	旧 ページ	箇所	種別	変更後		変更前
第3章	27		3－1 身近な自然を保全・創出する ◆市が取り組むこと 主な施策 1 番目	修正	公園を整備します。	(仮称) 南廻間池公園等を整備します。	整備が完了したため削除。
第3章	27		3－1 身近な自然を保全・創出する ◆市が取り組むこと 主な施策 6 番目	修正	学校等でのビオトープづくりを支援するとともに、企業敷地内ビオトープ等を通して身近な自然とふれあえる機会づくりに努めます。	学校等でのビオトープづくりを支援するとともに、ビオトープ等を通じた身近な自然とふれあえる機会づくりに努めます。	「学校等での」を削除し、市内企業等が整備したビオトープの活用（児童による見学、自然観察会の開催など）を推進できるよう、進捗管理の個票を修正予定 委員からもコメントをもらっているため、項目は削除しない
第3章	28		コラム	変更	市内のビオトープ	かいどり活動	板山小学校や市内企業敷地に整備されているビオトープを紹介する内容に変更予定
第3章	29		3－2 生物とその生息環境を守る ◆市が取り組むこと 主な施策 8 番目	修正	農地利用を集積・集約化するとともに、耕作放棄地となった農地についても近隣農業者への働きかけを行い	農地利用を集積することで	より具体的な表現に修正
第3章	30		3－2 生物とその生息環境を守る ◆市が取り組むこと 主な施策 2 番目	修正	6次産業化農業者支援プロジェクトや「にこもぐ」の活動を通じて、	追加	より具体的な表現に修正
第3章	30		コラム	変更	にこもぐの紹介	追加	6次産業化農業者支援プロジェクトにより実施しているにこもぐの紹介記事を掲載予定
第3章	31		柱4 安心・快適社会 ◆現状と課題 5行目から7行目	修正	水質の改善が進んでいないため、関係機関と連携を図りながら、汚濁原因の解消に取り組む必要があります。	季節により水質の悪化も見られることから、原因究明とさらなる水質汚濁対策が必要です。	調査により矢勝川の主たる汚濁源が他自治体の事業所であることが判明したため、現状と課題を修正。
第3章	32		4－1 きれいな水や大気を確保する ◆市が取り組むこと 主な施策 6 番目	修正	汚濁原因の解消による河川の水質改善	河川の汚濁源の調査と対策	調査により矢勝川の主たる汚濁源が他自治体の事業所であることが判明したため、主な施策と内容を修正。
第3章	32		4－1 きれいな水や大気を確保する ◆市が取り組むこと 主な施策 6 番目	修正	矢勝川の水質改善について、主たる汚濁原因の解消に向けて、関係機関と連携して取り組みます。	水質悪化が見られる矢勝川等の河川における汚濁源の調査と把握を進めるとともに、必要な対策を講じます。	調査により矢勝川の主たる汚濁源が判明したため、主な施策と内容を修正。
第3章	33		コラム	変更	水辺クリーン・アップ大作戦の紹介	ポスターコンクール作品	環境保全のための市民活動を紹介する予定
第3章	34		4－2 農畜産業の環境対策を推進する ◆市が取り組むこと 主な施策 1 番目	修正	新たな消臭資器材	追加	新たな消臭資器材の導入に対する補助を開始予定のため
第3章	35		コラム	変更	バイオマス発電	バイオマス産業都市構想	市内に3か所あるバイオマス発電所を紹介する記事へ変更予定
第3章	36		4－3 快適な暮らしを確保する ◆市が取り組むこと 主な施策 10 番目	修正	様々な啓発活動により、ポイ捨てに対するモラル向上に取り組み、さらなるまちの美化に努めます。	美化に努めます。	積極的に取り組む姿勢を表すため修正するもの。
第3章	37		コラム	変更	半田市の魅力ある景観	ポスターコンクール作品	亀崎地区の無電柱化を紹介する記事を掲載予定
第3章	38		柱5 協働 ◆施策の進捗を見る指標・目標	変更	3100件	720件	ホームページアクセス件数の目標値を上方修正
第3章	39		5－1 環境を学び、行動する人を増やす ◆市が取り組むこと 主な施策 1 番目	修正	体系的な環境学習の実施	環境学習システムの構築	学校指導要領に基づく環境学習や、市主催し業、企業や市民活動団体の取組に加え、PS会議においても環境大学を検討しているため、システムの構築から、取り組んでいくことへ修正するもの
第3章	39		5－1 環境を学び、行動する人を増やす ◆市が取り組むこと 主な施策 1 番目	修正	市民・市民活動団体・事業者等が参画した環境学習に取り組めます。	市民・市民活動団体・事業者等が参画した環境学習システムを構築します。	学校指導要領に基づく環境学習や、市主催し業、企業や市民活動団体の取組に加え、PS会議においても環境大学を検討しているため、システムの構築から、取り組んでいくことへ修正するもの

環境基本計画 新旧対象表

修正箇所				修正内容		修正の理由	
場所	新ページ	旧ページ	箇所	種別	変更後		変更前
第3章	39		5-1 環境を学び、行動する人を増やす ◆市が取り組むこと 主な施策 4番目	修正	半田の自然や産業、歴史文化などを体系的に紹介します。	半田の自然と歴史文化などを体系的に紹介します。	郷土愛醸成のために実施している「はんだの魅力発見ツアー」において、自然や歴史文化に加え、半田の産業に関する企画も行っているため、修正するもの。
第3章	39		5-1 環境を学び、行動する人を増やす ◆市が取り組むこと 主な施策 5番目	修正	農業体験の場と機会を提供します。	農業体験の場と機会を整備します。	既に事業化されており、整備という表現が合わないため。
第3章		41	5-2 多様な主体の協働で進める ◆市が取り組むこと 主な施策 1番目	削除	削除	保全	保全活動のみならず、幅広い活動がされているため、「保全」を削除
第3章	41		5-2 多様な主体の協働で進める ◆市が取り組むこと 主な施策 2番目	修正	企業やNPO等と連携した環境活動を、幅広く展開していきます。	企業やNPO等と連携した環境保全活動の仕組みを構築し、幅広く展開していきます。	保全活動のみならず、幅広い活動がされているため、「保全」を削除
第3章	41		5-2 多様な主体の協働で進める ◆市が取り組むこと 主な施策 3番目	修正	環境パートナーシップ組織等、多様な主体と連携を強化します	事業者による環境パートナーシップ組織を構築します。	PS会議を始め多様な主体と連携できる組織体はあるため、構築する⇒連携を強化するに変更する。
第3章	41		5-2 多様な主体の協働で進める ◆市が取り組むこと 主な施策 6番目	修正	環境保全活動団体の支援	環境リーダーの養成講座	環境リーダーの養成講座を実施する予定が無い場合、環境保全活動団体への支援により担い手育成を図る内容に修正するもの。
第3章	41		5-2 多様な主体の協働で進める ◆市が取り組むこと 主な施策 7番目	修正	環境情報の発信	環境情報システムの構築	仕組みは既存の仕組みを活用していくこととし、情報を発信することを強化するため修正する。
第3章	41		5-2 多様な主体の協働で進める ◆市が取り組むこと 主な施策 7番目	修正	わかりやすく環境情報を発信します。	わかりやすく発信する仕組みを構築します。	発信する仕組みは既存のツール（HPや広報、公式LINE）を用いるため、表現を修正。
第3章	42		5-2 多様な主体の協働で進める ◆市が取り組むこと 主な施策 1番目	修正	愛知県との連携によるアドバイザー派遣等により	アドバイザーの派遣等	愛知県が中小企業の脱炭素経営に力を入れており、アドバイザー派遣事業を県事業として実施している。事業者に対しては、県事業の活用を勧める。
第3章	42		5-2 多様な主体の協働で進める ◆市が取り組むこと 主な施策 2番目	修正	環境に配慮した経営活動の推進支援	環境経営推進への支援	具体的な表現へ修正するもの。
第3章	42		5-2 多様な主体の協働で進める ◆市が取り組むこと 主な施策 2番目	修正	環境に配慮した経営活動に関する講習会を開催し、事業者の関心を醸成します。	ESG投資や環境経営活動に関する講習会を開催し、環境経営に対する事業者の関心を醸成します。	ESG投資に関しては特にこれといった事業を行っていない。脱炭素経営という言葉にまとめられると良いが、公害関係を無視できないので環境に配慮した経営活動として修正を行うもの。
第3章	42		5-2 多様な主体の協働で進める ◆市が取り組むこと 主な施策 4番目	修正	環境保全表彰制度の紹介	環境保全表彰制度の創設	表彰制度は市や県、国の既存制度があり、新たに創設してもインセンティブとなりにくいため、好事例を推薦する方向で進めたい
第4章	43		1. 本市の温室効果ガス排出量の現状 本文 1行目から7行目	修正	本市の温室効果ガス排出量（うち、CO ₂ 排出量）は、令和4（2022）年度に1,102千t-CO ₂ であり、平成24（2012）年度をピークに減少傾向にありましたが、平成29（2017）年度に再び増加しています。特に産業部門でその傾向が顕著となっています。CO ₂ 排出量の部門別構成は、令和4（2022）年度時点、産業部門（57%）、業務その他部門（13%）、家庭部門（12%）、運輸部門（17%）、廃棄物部門（1%）、となっており、産業部門が半数以上を占めています。1人当たり総排出量は、令和4（2022）年度に9.33 t-CO ₂ /人です。	本市の温室効果ガス排出量は、平成29（2017）年度に1,213千t（うちCO ₂ 排出量1,167千t-CO ₂ ）であり、平成24（2012）年度をピークに減少傾向にありましたが、平成29（2017）年度に再び増加しています。特に特に産業部門でその傾向が顕著となっています。部門別構成は、平成29（2017）年度時点、産業部門（50%）、業務その他部門（15%）、家庭部門（13%）、運輸部門（17%）、廃棄物部門（1%）、農業部門（4%）となっており、産業部門が半数を占めています。1人当たり総排出量は、平成29（2017）年度に10.3t CO ₂ /人です。	最新の数値に更新

環境基本計画 新旧対象表

修正箇所				修正内容		修正の理由	
場所	新 ページ	旧 ページ	箇所	種別	変更後		変更前
第4章	43		図 部門分野別CO ₂ 排出量の推移	修正	最新の数値に更新		最新の数値に更新
第4章	43		図 部門分野別CO ₂ 排出量の構成比	修正	最新の数値に更新		最新の数値に更新
第4章		44	中段の図	削除	削除	図 気温と海面水位の将来予測	特筆して記載するべき内容ではないため削除
第4章	44		2. 脱炭素化をめぐる動向 2) 国内における温暖化対策の加速 本文 1行目	追加	(以下、「国計画」という。)	追加	計画内に再度登場するため記載
第4章	44		2. 脱炭素化をめぐる動向 2) 国内における温暖化対策の加速 本文 12行目から20行目	追加	この野心的な目標に向けて取り組んでいくために、政府は令和3（2021）年3月には地球温暖化対策の推進に関する法律を改正し、2050年カーボンニュートラルを法的に位置づけるとともに、同年4月には「温室効果ガスを2013年度から46%削減」と従来の目標を更に上回る目標を打ち立て、同年10月には新たな地球温暖化対策計画を策定しました。 国はさらに令和12（2030）年までの10年間を重要な期間と位置づけ、令和7（2025）年までに適用可能な最新技術でできる重点対策を全国で実施し、脱炭素の先行モデルを作ることで全国の自治体に波及させるという「実行の脱炭素ドミノ」を生み出し、令和32（2050）年までには革新的技術も活用しながら脱炭素でかつ持続可能で強靱な活力ある地域社会を実現していくことを目標とし、全国の自治体と一体になった取り組みの推進を行っています。	追加	国の動向について、最新の情報を追加したもの。
第4章	45		2. 脱炭素化をめぐる動向 3) 地球温暖化対策としてのごみをめぐる動向 ●食品ロス問題 本文 2行目から6行目	修正	日本では、年間2,104万トンの食品廃棄物が排出されており、このうち食品ロスは、464万トンと試算されています（農林水産省及び環境省「2023年度推計」）。これは、世界中で飢饉に苦しむ人々に向けた世界の食糧援助量（令和5（2023）年で年間約370万トン）の1.3倍に相当します。また、食品ロスを国民1人あたりに換算すると、「おにぎり1個分（約102グラム）の食べ物」が毎日捨てられている計算となります。	日本では、年間2,550万トンの食品廃棄物が排出されており、このうち食品ロスは、612万トンと試算されています（農林水産省及び環境省「2017年度推計」）。これは、世界中で飢饉に苦しむ人々に向けた世界の食糧援助量（平成30（2018）年で年間約390万トン）の1.6倍に相当します。また、食品ロスを国民1人あたりに換算すると、「お茶碗1杯分（約132グラム）の食べ物」が毎日捨てられている計算となります。	最新の数値に更新
第4章	46		4. 削減目標 本文 3行目から4行目	修正	令和3（2021）年度からの	今後	改訂に伴い表現を変更
第4章	46		4. 削減目標 本文 4行目から7行目	修正	国が掲げる「2030年度に2013年度比で温室効果ガス排出量46%削減、さらに50%の高みに向けて挑戦する」	国や愛知県で掲げられている「2030年度に2013年度比で温室効果ガス排出量26%削減」	目標値を50%にする必要がある（重点対策加速化事業の採択を受けたため）ことから、国の野心的目標に合わせたことを記載
第4章	46		図 温室効果ガス排出量の削減目標	修正	最新の情報に更新		目標値の変更及び現状値を反映したグラフに変更
第4章	46		表 温室効果ガス排出量の削減目標	修正	最新の目標値に更新		目標値の変更及び現状値を反映した表に変更したことに加え、国や県の削減目標値を追記した
第4章	47		5. 重点的な取り組み 本文 6行目から8行目	追加	なお、目標の達成に向けては、本計画の基づく取り組みによる削減見込量に加え、国や県の施策による削減量を考慮する必要があります。そのため、削減量の試算にあたっては、国計画における各分野の取り組みによる削減見込量を参考にしています。	追加	国の取組による削減見込量について、具体的な数値を載せることはしないものの、削減見込の算定にあたっては国の取組による削減量が大きいので、それを示すために追加したもの。
第4章	47		5. 重点的な取り組み 表 国、県、市のそれぞれの取組	追加	国、県、市のそれぞれの取り組み	追加	国や県の取組による削減量を見込んだ目標設定にしているため、それぞれの計画概要版から特に市の取組と関連のある項目を抽出して掲載したもの。
第4章		47	下段の図	削除	削除	図 地球温暖化対策によるCO ₂ 削減のイメージ	国、県、市のそれぞれの取組を示す表に変更するもの

環境基本計画 新旧対象表

修正箇所				修正内容		修正の理由	
場所	新 ページ	旧 ページ	箇所	種別	変更後		変更前
第4章	48		5. 重点的な取り組み 1) 各主体における省エネ推進によるエネルギー需要の削減 市 1つ目の・	修正	住宅用地球温暖化対策設備の購入助成等により、太陽光発電設備やHEMS、蓄電池、ZEH等の導入を支援します。	太陽光発電やHEMS等の環境配慮型住宅用設備の購入助成を行います。	環境基本計画本編の表現に修正
第4章	48		5. 重点的な取り組み 2) CO ₂ 排出量の少ないエネルギーの積極的な導入・選択 本文 3行目から5行目	修正	地域新電力事業や、未利用地域バイオマス資源の活用などを推進するとともに、公共施設における再生可能エネルギーの調達100%化に取り組みます。	地域新電力事業の設立や、未利用地域バイオマス資源の活用など、新規事業の導入可能性調査を行い、持続可能な事業としての評価と検討を行います。また、公共施設における再生可能エネルギーの調達100%化に向けた取り組みを推進します。	これらの事業の導入可能性調査は実施済みのため、現状に合わせて表現を修正するもの
第4章	48		5. 重点的な取り組み 2) CO ₂ 排出量の少ないエネルギーの積極的な導入・選択 市 4つ目の・	修正	活用を推進します。	導入可能性調査を行います。	可能性調査は実施済みであるため、表現を修正
第4章	49		5. 重点的な取り組み 3) 脱炭素化に向けた市内の協働醸成と、協働体制の仕組みづくり 本文 2行目	修正	分野横断的な庁内組織	分野横断的な庁内プロジェクトチーム	単独のプロジェクトではなく、進捗管理や使用エネルギー量を率先して削減することを共有する組織として いるため、表現を修正
第4章		49	3) 脱炭素化に向けた市内の協働醸成と、協働体制の仕組みづくり 本文 6行目	削除	削除	うちエコ診断やクールチョイス賛同家庭などの協力により	家庭部門のCO ₂ 排出量実態調査は継続的に実施していくものの、R6の脱炭素チャレンジ、R7は親子向け動画事業の中でなど、形を変えて実施することから特定サービスの表現を外すもの。
第4章		50	4) ごみ減量と資源課の推進に向けた取り組み ●プラスチックごみ削減に向けた取り組み 本文 4行目	修正	課題解決を図ります。	複合的な課題解決に対応していきます。	課題解決を図ることを強調するため、用語を整理したもの。
第4章	51		6. 「半田市公共施設CO ₂ 排出削減対策実行計画（事務事業編）」	追加	6. 「半田市公共施設CO ₂ 排出削減対策実行計画」 本市では、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第1項に基づき、市が自らの事務・事業から発生する温室効果ガス排出量の削減について定める「半田市公共施設CO ₂ 排出削減対策実行計画」を策定しています。2050年度カーボンニュートラルを達成するため、徹底した省エネルギー対策や公共施設への太陽光発電設備・蓄電池の導入など再生可能エネルギーの活用を進め、さらに、令和 12 年度（2030 年度）以降も取り組みを継続的に推進することにより、2050年度カーボンニュートラルの達成をめざします。	追加	事務事業編の内容を追加
第4章	51		6. 「半田市公共施設CO ₂ 排出削減対策実行計画（事務事業編）」 ● 目標	追加	●目標 2030年度における温室効果ガス排出量を2013年度比で50%削減する。	追加	事務事業編の内容を追加
第4章	52		●本市のごみの現状 1行目から6行目	修正	本市のごみ量は、令和3（2021）年度から実施した家庭系ごみの有料化により大きく減少し、それ以降も減少傾向が続いています。また、有価資源回収量はコロナ禍により一時中断したこともあり、それ以降も減少が続いています。 愛知県が実施している令和5（2023）年度一般廃棄物処理事業実態調査の結果では、半田市の1人1日当たり家庭系ごみ排出量は441gで、県内市町村の平均475gと比較して34g少ない状況です。これは県内54市町村のうち11番目と、県内でもごみ量が少ない状況にあります。	愛知県が実施している平成30（2018）年度一般廃棄物処理事業実態調査の結果では、半田市の家庭系ごみの排出量は1人1日当たり577gで、県内市町村の平均517gと比較して60g多い状況です。これは県内54市町村のうち43番目と、県内でもごみ量が多い状況にあります。	最新の数値に更新し、合わせて表現を修正
第4章	52		図 家庭系ごみ・事業系ごみ量の推移	修正	更新		最新の数値に更新
第4章	52		表 収集ごみに含まれる資源の混入率（半田市ごみ分析調査より）	修正	更新		最新の数値に更新

環境基本計画 新旧対象表

修正箇所				修正内容			修正の理由
場所	新 ページ	旧 ページ	箇所	種別	変更後	変更前	
第4章	52		図 町内市町村1人1日あたり家庭ごみ排出量	修正	更新		最新の数値に更新
第6章	59		1. 本市の自然環境の現状 下段	変更	ページ下段 水辺マップ（R5作成）	ページ下段 水辺マップ（R3作成）	水辺マップを最新のものに変更
第7章	64		1. 計画の推進体制 1）半田市環境審議会 本文 2行目から3行目	変更	構成し、毎年度の計画の点検や評価、取り組み内容への提案を行います。	構成します。	環境審議会とパートナーシップ会議の役割を整理したことにより、修正するもの
第7章	64		1. 計画の推進体制 2）はんだ環境パートナーシップ会議 本文 2行目から3行目	変更	施策の企画立案を行います。	毎年度の計画の点検や評価、取り組み内容への提案を行います。	環境審議会とパートナーシップ会議の役割を整理したことにより、修正するもの
全編	全体		フォントの変更	変更	BIZ UD ゴシック	HG ゴシックM	ユニバーサルデザイン対応のため、フォントを変更したものの。
該当箇所	該当 ページ		用語の修正	変更	「等」と「など」の整理		用法が混在していたため、今回の見直しで整理。市民向けに該当する箇所には「など」を用い、それ以外は「等」に統一。変更に伴い文脈上必要な箇所には読点を追加。 市民向け…コラム、各主体が取り組むことのうち、市民の取り組み
該当箇所	該当 ページ		用語の修正	変更	「めざす」を「目指す」へ統一		用法が混在していたため、今回の見直しで整理するものの。
該当箇所	該当 ページ		用語の修正	変更	「～いきます」の表現を「～します」へ整理		「～いきます」の表現を「～します」へ整理。「していきます」や「続けていきます」から「します」「続けます」へ変更。一部、未来に向けて取り組んでいくことの意味表明として書かれた部分については「いきます」を残した。
該当箇所	該当 ページ		用語の修正	変更	デコ活	クールチョイス	政府実行計画において現行計画ではクールチョイスを使用しておらず、デコ活に変更されているため、以降すべてのクールチョイスをデコ活に修正するもの。
該当箇所	該当 ページ		用語の修正	変更	住宅用地球温暖化対策設備	環境配慮型住宅用設備	R4に開始した市の補助制度名称に合わせて修正
該当箇所	該当 ページ		用語の修正	変更	次世代自動車	環境配慮型自動車	政府実行計画における表現が次世代自動車となっていることから修正するもの。
該当箇所	該当 ページ		用語の修正	変更	プラグインハイブリッド自動車（PHEV）	プラグインハイブリッド自動車（PHV）	政府実行計画における表現や、国補助金における表現がPHEVに統一されていることから修正するもの。
該当箇所	該当 ページ		用語の修正	変更	太陽光発電設備	太陽光発電システム	本市補助要綱の表現に合わせて修正するもの。
該当箇所	該当 ページ		用語の修正	変更	はんだクリーンボランティア	アダプトプログラム	現在の正式名称に改め
該当箇所	該当 ページ		用語の修正	変更	水辺クリーン・アップ大作戦	水辺クリーンアップ大作戦	正式な表記に改めるもの。
該当箇所	該当 ページ		用語の修正	変更	バイオ肥料	バイオ液肥	液肥だけでなく、乾燥肥料の製造にも着手しており、並行して利用促進を図っていくため
該当箇所	該当 ページ		用語の修正	変更	こども	子ども	こども基本法に合わせ変更。一部『子ども食堂』については名詞のため変更せず。

環境基本計画 新旧対象表

修正箇所				修正内容		修正の理由
場所	新 ページ	旧 ページ	箇所	種別	変更後	変更前
第1章 から 第3章	該当 ページ		語句の修正	変更	半角英数字	全角英数字
第4章	該当 ページ		語句の修正	変更	半角英数字	全角英数字